



# とっとり

公益財団法人  
鳥取県国際交流財団  
Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取県国際交流財団

# 国際通信

No. 148  
Mar. 2025

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国際通讯 Bàn tin quốc tế Tottori



📷 表紙 Photo

## 令和6年度 「多文化共生パネルディスカッション」(12/15)

2024 Multicultural Symbiosis Panel Discussion (12/15)

令和6年度「多文化共生研讨座谈会」(12/15)

"Trao đổi ý kiến về cộng sinh đa văn hóa" năm 2024 (15/12)

### 目次 Contents / 目录 / Mục lục

#### ● TPIEF だより

主な事業の開催状況

- 多文化共生パネルディスカッション「今、何しにとっとりへ？」 02  
(令和6年度多文化共生ネットワーク連携事業 協働事業)
- 通訳ボランティアスキルアップ講座 03
- 山陰・夢みなと博覧会記念基金 助成金事業のお知らせ

#### ● 特集 国際交流フェスティバル開催報告 04

- 県内で開催される次回国際交流フェスティバルのご案内

- お探しの本、財団にあります! 05
- JICAデスクよりお知らせ

#### ● 英語版・中国語版・ベトナム語版 ダイジェスト 06・07

Information in English, Chinese and Vietnamese  
英文版・中文版文摘・越語版  
Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt

- 賛助会員募集のご案内 08
- ワールドレシビ 08



# 主な事業の開催状況

## TPIEF 多文化共生パネルディスカッション

# 今、何しに トットリへ?

日時:2024年12月15日(日)

会場:米子市文化ホール イベントホール

鳥取県では外国出身者の定住がますます増えています。多様な文化を持つ人がお互いに尊重しながら生活していく地域づくりをテーマに、多文化共生パネルディスカッションを開催しました。開催が年末差し迫る時期だったにもかかわらず、会場には約100名の方々が集まってくださいました。

オープニングは、地元を中心に活動するフィリピン人のグループ「HIYAS(ヒヤス)」の皆さんによるフィリピンの伝統ダンスでスタートしました。この日のために練習を重ねてきた20名によるダンスは迫力があり、一気に会場の雰囲気盛り上がりしました。

続くパネルディスカッションでは、県内在住の外国出身者5名(台湾、アメリカ、タイ、韓国、ロシア)が登壇し、3つのトピック(異文化理解、日本語、子育て)について思いを語りました。登壇者は来日当時の言葉や生活習慣などの違いで苦労した経験を振り返り、会場に投影した思い出の写真とともに来場者と共有しました。

文化背景が異なることによる違いについては、コミュニケーションを取って理解を深め、互いに認め合うことが大切、というメッセージが込められました。



熱心に聴く参加者の様子

オープニングパフォーマンスHIYAS(ヒヤス)

## 展示ブース

今回のパネルディスカッションでは、登壇者を含めて8カ国10名の県内在住外国出身者が協力者として関わったことから会場に協力者の出身国についての挨拶や食文化などを紹介する展示パネルを設置し、情報発信を行いました。パネルディスカッション終了後、来場者の皆さんは各国の展示ブースを回り、協力者と交流を楽しんでいました。



▲フィリピン 展示ブース



▲中国 展示ブース



- 最高におもしろくて異文化に対する勉強になった!
- 外国の方の率直な悩みや本音を聞くことができた。
- 外国出身の方とは思えない親しみがあった。
- 日本の習慣やルールなど私たちが当たり前と思っていることが、そうではないことがたくさんあるのだと実感した。
- 日本独自の文化(例えば暗黙の了解、人と人との距離感)で困ったという話を聞いて良かった。



## TPIEF 通訳ボランティアスキルアップ講座

2025年2月15日(土) 県民ふれあい会館

今年9月に開催される「東京2025世界陸上競技選手権大会」を前に、ジャマイカ陸上競技選手団が鳥取県で事前キャンプを行うことが決定しました!

鳥取県では数年前から事前キャンプが行われることを想定し、年1回「通訳ボランティアスキルアップ講座」を開催しています。通訳ボランティアの発掘および育成が目的ですが、今年はその総決算の年です。

今回は昨年に引き続き、ジャマイカ出身ALTのシャフナ マッケンジーさんによるジャマイカの紹介の後、後半はシェリー メガリーさんに通訳ボランティアの心得や、アスリートの通訳をする際に気を付ける事等を講義していただきました。実践に役立つ内容は、9月の活動の際にも活かされること間違いなしです。



▲通訳ボランティアの心得などを説明する シェリーさん



▲参加者同士のグループワーク



▲ジャマイカを紹介する シャフナさん

## 県スポーツ課より

通訳ボランティアの皆様、ご参加いただきありがとうございました!

皆様の熱意や意欲に満ちた素晴らしい時間となり、いよいよ始まる事前キャンプに胸が躍ります!シャフナさんからのジャマイカ文化についてのお話、シェリーさんによる事前キャンプでの業務のポイントのお話で、通訳ボランティアの面白さ、楽しさを改めて感じられたかと思います。

事前キャンプの成功、そしてジャマイカ選手団の東京世界陸上での活躍には、通訳ボランティアの皆様のお力が必要です!みんなで選手の皆様をサポートし、心を一つに頑張りましょう!



## 山陰・夢みなと博覧会記念基金 助成事業のお知らせ

当財団では、国際交流活動等に対して助成を行っています。この度、県民の皆様により広く活用していただくべきのご意見を受け、令和7年度実施事業から、見直しを行う予定です。変更後の制度要綱、申請書等の様式は、令和7年3月中旬に財団ホームページ上に掲載予定です。それまでに申請される方がおられましたら、最寄りの事務所までお問合せください。

※助成の対象となるのは、県内に活動拠点を有する民間団体、学校です。

### 【民間交流事業 見直しのポイント】

- 1 参加要件を緩和し、利用しやすくなります。
- 2 1回毎の助成額を引き下げ、限られた基金を広く長期間活用できるようにします。
- 3 広範囲となっている助成項目を限定することで、審査期間の短縮になります。
- 4 他団体の補助金との併用は不可とします。

民間交流事業  
変更箇所一覧表



### 【海外教育旅行事業 見直しのポイント】

- 1 助成額を引き上げます。
- 2 他団体の補助金との併用を認めます。



教育旅行事業  
変更箇所一覧表





特集

International Exchange Festival

# 国際交流フェスティバル

開催報告



西部  
米子市

## よなご国際交流フェスティバル2024

日時:2024年10月6日(日) 会場:米子市文化ホール



▲インドネシアのハラール料理



▲展示ブースのクイズラリー

お天気にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきフェスティバルを開催することができました。今回は、高校生による日本文化体験やインドネシアのハラール料理など初出展された参加団体もあり、来場者と参加団体が、お互いに異文化理解を深め合う貴重な交流の機会となりました。

また、ボランティアさんのご協力のもと、クイズラリーも工夫を凝らし大人から子どもまで大いに楽しみました。毎年、実行委員会で当日に向け準備をし、みんなで創り上げるフェスティバルを目指しています。次回も、さらに充実した内容で、多くのご参加をお待ちしています。

中部  
倉吉市

## くらし国際交流フェスティバル2024

日時:2024年11月10日(日) 会場:伯耆しあわせの郷

今回のくらし国際交流フェスティバルは、初参加のBUKLODによる「フィリピン文化Show」の庄巻のステージで幕を開けました。

毎年大好評の食べ物ブースも、今年は8団体が出展し、11か国の料理やコーヒーの販売があり、あっという間に完売するブースが続出。文化体験ブースや活動紹介ブースでは、例年より多くの来場があり、出展者の方々楽しそうに話している姿が見られ、国際交流フェスティバルにふさわしい雰囲気でした。

最後はステージの韓国伝統芸能プンムルノリの演奏で盛り上がり、全員で記念撮影。また来年も会おうと約束して幕を閉じました。フェスティバルでは、新しい団体の参加も大歓迎ですので、興味のある方はぜひ次回フェスティバルにご参加ください♪



▲台湾の文化をクイズで紹介



▲ステージ フィリピンの踊り

東部  
鳥取市

## 第36回(2024年)タイムフェスティバル

日時:2024年11月24日(日) 会場:とりぎん文化会館



▲アフリカ ジンバブエのステージ



▲練習の成果を披露したしゃんしゃん傘踊り

今年のテーマは、「Love to the World ~ 愛のメッセージを世界に~」。学生実行委員企画のハート探しでは、広い会場内に隠された、いろいろな国の言葉の「愛」を探しました。

ステージパフォーマンスでは、しゃんしゃん傘踊り体験の練習成果を披露する姿や、フィリピンの文化SHOW、ジンバブエのムビラ演奏、インドネシアの伝統楽器アングルンを会場の方と一緒に演奏するなど、世界各国の紹介や音楽で盛り上がりました。

タイムフェスティバルの魅力のひとつは、フェスティバルを「みんなでつくる」ことです。年齢や国籍も様々な約80名が、実行委員やボランティアとして参加し、準備から片付けまで活躍してくれました。皆さんもぜひ、「つくる」側として参加してみませんか。

### 県内で開催される次回国際交流フェスティバルのご案内

よなご国際交流フェスティバル2025

〈日時〉2025年11月3日(月・祝) 〈会場〉米子市文化ホール

第37回(2025年)タイムフェスティバル

〈日時〉2025年11月8日(土) 〈会場〉とりぎん文化会館

くらし国際交流フェスティバル2025

〈日時〉2025年11月9日(日) 〈会場〉伯耆しあわせの郷